

笈川小学校だより

おいかわ

11月号

令和7年10月31日発行

文責 校長 前田 敬

学 習 発 表 会



1年「きらきら1年生」



2年「2年生からの挑戦状」



3年「わくわく三年とうげ」



4年「さつきとメイの阿賀川散歩」



5年「世界のおもしろ発見隊」



6年「昔があるから今がある」

去る10月11日（土）に開催しました「学習発表会」には、たくさんの皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。1年生から6年生のこれまでの学習と関連付けた発表をご覧いただきましたが、どの学年もこれまでの練習の成果を十分に発揮することができたようです。特に、6年生の自信に満ち溢れたセリフや演技には驚かされました。皆様の温かい拍手に感謝申し上げます。

森 林 環 境 学 習

9月30日（火）、全校生で猪苗代町へ「森林環境学習」に出かけました。午前中は、昭和の森公園で自然散策を行い、ガイドさんから森林のはたらきや動植物等について詳しく教えていただきました。午後は、磐梯青少年交流の家で、ビュッフェ形式の昼食をとった後、樹木オリエンテーリングを楽しみました。今回の森林環境学習は、最初から最後まで縦割り班での活動で、異学年での交流を深めるとともに、班長・副班長の6年生が、優しく下級生の面倒を見る姿が数多く見られ、大変微笑ましかったです。なお、この森林環境学習は、県の森林環境税からの助成を受け実施した取組です。





村小学校マラソン合同記録会

去る10月24日（金）、爽やかな秋空の下、「村小学校マラソン合同記録会」を開催しました。これまで子ども達は、朝の活動の時間や体育の時間を使って、少しでもタイムを縮めようと練習に励んできました。当日は、保護者や地域の皆様の温かい応援をいただきながら、子ども達は最後まで全力を出し切って走り抜くことができました。たくさんのご声援とご協力に感謝いたします。ありがとうございます。

ございました。それぞれの学年で男女別校内1位になった児童を紹介します。

第1学年（1.0 km）	男子	東条 昌磨さん	5分09秒	女子	物江 美玲さん	5分16秒
第2学年（1.0 km）	男子	篠田 善さん	4分43秒	女子	湯田 柚さん	4分40秒
第3学年（1.5 km）	男子	栗城 快翔さん	6分13秒	女子	五十嵐さくらさん	7分15秒
第4学年（1.5 km）	男子	関本 圭悟さん	6分42秒	女子	渡部 ひなさん	7分45秒
第5学年（2.1 km）	男子	生亀 優真さん	9分11秒	女子	阿部 詩織さん	9分27秒
第6学年（2.1 km）	男子	栗城 翔愛さん	8分30秒	女子	薄 こはるさん	9分21秒

10月の校長講話より(概要)

10月20日（月）の「全校朝の会」では、次のような話をしました。

皆さんは「努力のつぼ」というお話を聞いたことがありますか？小学校1年生の角野 愛さんが書いた作文を紹介します。

努力のつぼ

「お母さん、努力のつぼの話、またして。」「うん、いいよ。今度はなあに。」

「逆上がり。」「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。随分大きいねえ。」

と言いながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれた努力のつぼの話をまたゆっくりと始めました。それはこんな話です。

『人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいのやら小さいのやらいろいろあります。そして、そのつぼは、その人の目には見えないのです。でも、その人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」があふれるとき、つぼの大きさが分かるというのです。だから、休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。』

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。その時は、横ばしごの練習をしている時でした。それから一輪車や、鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張ってやっているとき、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。

くじけそうになったときでも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして、私の「努力」がもう少しであふれそうに見えるのです。だから、また頑張る気持ちになれます。お母さんの言うとおりに、今度の逆上がりのつぼは、随分大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも、今度こそ、あと少しであふれそうな気がします。だから、明日からまた頑張ろうと思います。お母さんは

「つぼが大きいととても大変だけど、中味がいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」

と言ってくれるけど、今度神様にもらうときは、もう少し小さいつぼがいいなあと思います。

『朝日作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文25選』（1998年 明治図書）より

こんなお話です。皆さんも「逆上がりができない」とか「25m泳げない」など、できなくてあきらめたくなることがあると思います。そんな時、このお話を思い出してみてください。あきらめずに努力を重ねれば、必ずできるようになります。皆さんの日々の「努力」を期待しています。

